

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Nivolumab + Ipilimumab (悪性黒色腫) ※Nivolumab: 5サイクル目以降 480mg q4w
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	根治切除不能な悪性黒色腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Sk-014
登録日・更新日	2020年10月27日登録/2022年4月26日更新
削除日	
出典	オブジーボ添付文書 ヤーボイ添付文書 N Engl J Med. 2018 ;37:1277-1290
入力者	船木 麻美

投与順に記入(抗がん剤のみ)

1-4サイクル目						
	薬剤名: 一般名 (薬剤名: 商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ニボルマブ(遺伝子組換え) (オブジーボ点滴静注)	20mg, 120mg, 240mg	80mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	30分以上	day1
	生理食塩液	100mL				
No.2	イピリムマブ(遺伝子組換え) (ヤーボイ点滴静注液)	50mg	3mg/kg	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	30分	day1
	生理食塩液	100mL				

5サイクル目						
	薬剤名: 一般名 (薬剤名: 商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ニボルマブ(遺伝子組換え) (オブジーボ点滴静注)	20mg, 120mg, 240mg	480mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	30分以上	day1
	生理食塩液	100mL				

1コースの期間(1-4サイクル目)	21日
1コースの期間(5サイクル目以降)	28日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(1日) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	【初回治療開始基準】 WBC>2000/mm ³ かつ ANC>1500/mm ³ Hb>9.0g/dL Plt>10万/mm ³ T-Bil<2.0mg/dL AST<100IU/L ALT<100IU/L 血清Cr≤1.5mg/dL またはクレアチニンクリアランス≥45mL/min
前投薬	なし
その他の注意事項	【オブジーボ点滴静注】 ・希釈後の最終濃度0.35mg/mL未満では、本剤の点滴溶液中の安定性が確認されていない。 ・1-4サイクル目は、添付文書に記載されている総液量を満たしつつ、本剤の希釈後の最終濃度が1.9mg/mL以上となるように調製することはできないため、CVポート又はPICCから本剤を投与することは原則避ける。 【ヤーボイ点滴静注液】 ・そのまま、もしくは生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液を用いて1~4mg/mLの濃度に希釈し、投与すること。 【オブジーボ点滴静注、ヤーボイ点滴静注液 共通】 ・併用療法は最大4コース。 ・インラインフィルタ(0.2又は0.22μm)を使用する。 ・PD-L1発現率が1%以上であることが確認された患者においては、原則、オブジーボ点滴静注単独投与を優先する。 【免疫チェックポイント阻害薬有害事象対応マニュアル】を参照

記入者	船木 麻美
確認者	宮地 康僚